

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・ハードディスクに保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）にしたがって走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

ACCESS™

NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS社ロゴおよびNetFrontロゴ
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

| | |
|--|--|
|  アドバイス | <ul style="list-style-type: none">● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。 |
|  | 参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。 |
|  | 本体のパネル部のボタンを表します。 |
|  | タッチパネル部のボタンを表します。 |
|  | 画面上でタッチパネル操作を表します。 |
| : | 操作を行なった結果を説明します。 |
|  | 操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。 |

使用上の注意事項等

● デュアルサイズHDDナビコンボの操作

- ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
- ・ 運転中に画面を注視しないでください。

- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

このシステムでできること

このシステムには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

ナビゲーション P43

表示が見やすくわかりやすい、タッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内(道案内)を行ないます。

VICS P136

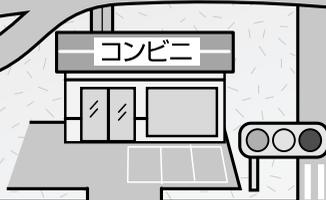
渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

ETC **別売品** P164、228

高速道路料金所で現金やクレジットカードなどの受け渡しを行わずに通過することができます。

オーディオ・地上デジタルテレビ 別冊

簡単な操作でラジオ、CD、Music Rackなどを聞いたり、停車中には、地上デジタルテレビ、DVDビデオ、外部入力映像などを見ることができます。



こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

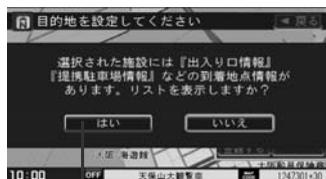
複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

1



MENU ボタンを押し、
目的地 の **ジャンル** ボタンを
タッチします。

6



*
到着地点情報画面が表示された
場合、**いいえ** ボタンをタッチし
ます。

7



ルート案内が始まります。



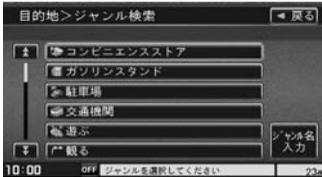
* 印： **はい** ボタンをタッチすると、出入り口情報などの情報リスト画面が表示されます。操作手順については112ページのアドバイスをご覧ください。

画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



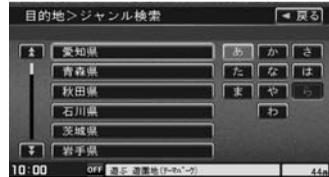
2



リストから“ジャンル”を選び、タッチします。

さらに細かく“ジャンル”のリストが表示された場合は種類を選びタッチします。

3



リストから“都道府県名”を選び、タッチします。

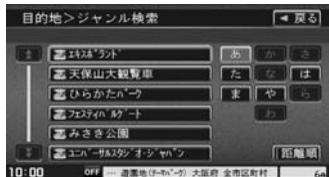
さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

5



施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して**目的地を設定する** ボタンをタッチします。

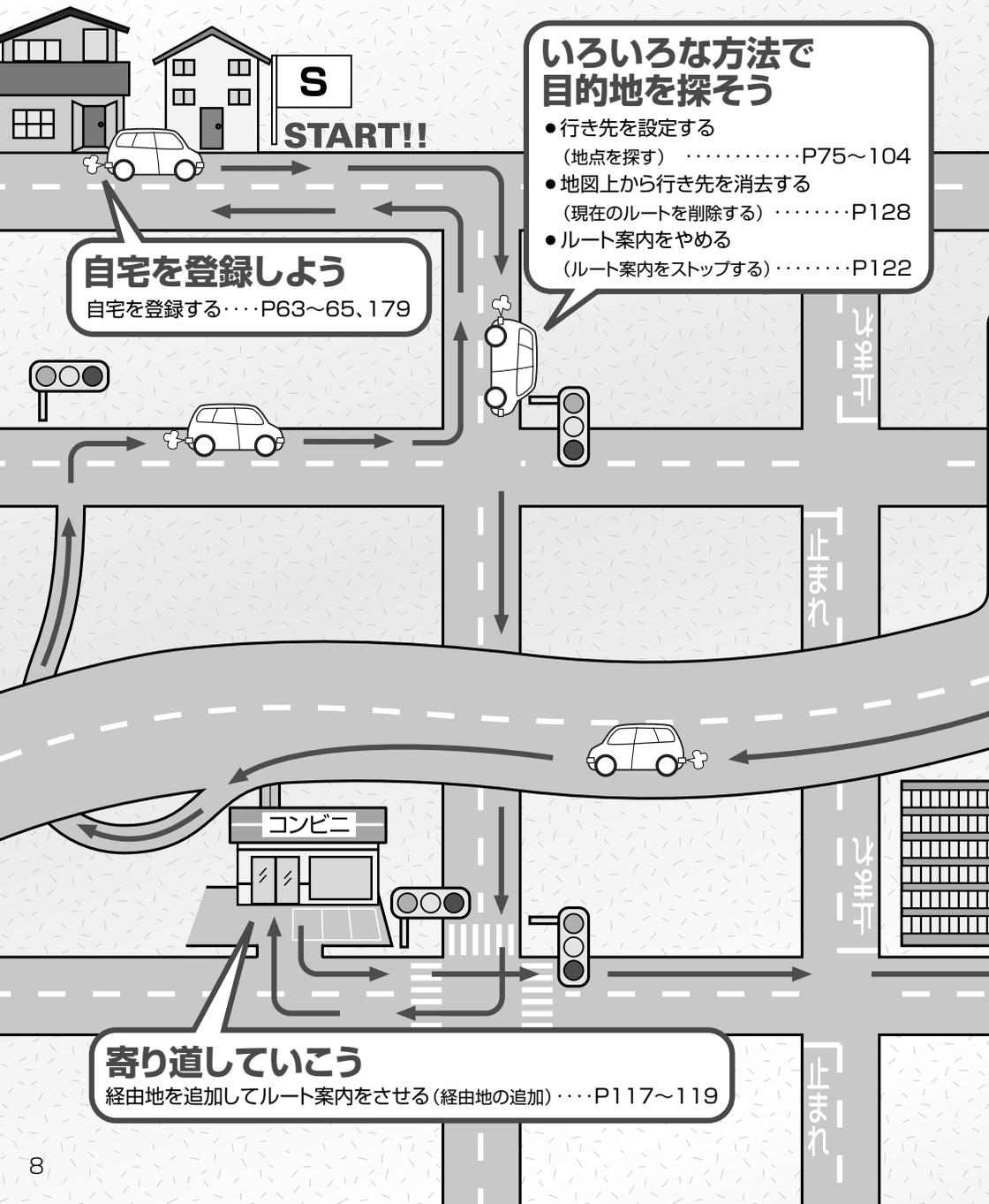
4



リストから“施設”を選び、タッチします。

ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。



いろいろな方法で 目的地を探そう

- 行き先を設定する
(地点を探す) ……………P75~104
- 地図上から行き先を消去する
(現在のルート削除する) ……………P128
- ルート案内をやめる
(ルート案内をストップする) ……………P122

自宅を登録しよう

自宅を登録する……P63~65、179

寄り道していいこう

経路地を追加してルート案内をさせる(経路地の追加)……P117~119

わかりやすくナビゲーション

- ルートから外れてしまったら(再探索) ……P131
- VICSで渋滞情報を見る(表示について) ……P136
- 交差点拡大図を表示する ……P200

自宅へ帰りたい

自宅まで探索するには…P67

高速道路も大丈夫

- 有料道路を優先してルートを探る
(探索条件の変更) ……P72~74, 182
- 高速道路情報を見る
(ルート情報を表示する) ……P194, 195
- ETCを利用する
……………P164, 165, 228~232

見やすい地図にするには?

- 地図画面の見かた(代表的な画面の表示内容について) ……P48, 49
- 地図を拡大/縮小する ……P50
- 地図表示(方位)を切り替える ……P53, 54
- 地図を動かす(地図スクロール) ……P55
- 右画面に地図を表示する ……P68

このシステムを使いこなすヒント

● 進行方向を上にして地図を表示したい

地図表示(方位)を切り替える……P53、54

● よく行く場所を登録したい

地点を登録する……P61、62

● いろいろな行きかたを同時に見たい

1ルート探索・複数ルート探索をする……P109~113

● 探索したルートの全体を見よう

現在のルートを表示する……P123、124

● VICS情報を利用したい

VICS情報を見る……P136~163

● ETCの利用状況を見たい **別売品**

履歴を確認する……P164

このシステムを便利に使いこなすためのいろいろなヒントをご紹介します。

● **エコドライブ度を評価したい**

エコドライブ情報を設定する・・・P171～175

● **ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい**

ランドマークを設定する・・・P202、203

● **走ってきた道を表示させたい**

軌跡を使う・・・・・・・・・・・・P207～209

● **案内音量を大きくしたい**

音声案内の音量を調整する・・・P218、219

● **次のオイル交換は？**

メンテナンス情報を設定する・・・P233～236

●音声はそのまま、画面だけ消したい

音声はそのまま画面を消す ……P265

●ルート案内しながら音楽を聞きたい

ナビゲーション画面を表示したままで
音楽を聞くには ……P267

別冊

- Music Rackを聞こう
- CDを聞こう
- ラジオを聞こう
- SDカード／USBメモリ
デバイスを接続して音楽を聞こう
- iPodを接続して音楽を聞いたり、
映像を見よう
- DVDビデオを見よう
- 休憩してテレビを見よう

目次(1)

| | |
|-------------------|-------|
| 本書の見かた | 4 |
| このシステムでできること | 5 |
| こんなにかんたん！行き先を決めよう | 6、7 |
| ナビでドライブ！ | 8、9 |
| このシステムを使いこなすヒント | 10~12 |
| 目次 | 13~16 |

| | | |
|-----------------|------------------------------------|-------|
| はじめに P17~ | 安全上のご注意 | 18、19 |
| | 使用上のご注意 | 20~22 |
| | 主な特長 | 23~30 |
| | GPS衛星の電波を受信するには | 31 |
| | GPS(Global Positioning System)について | 31 |
| | 現在地の誤差について | 31 |
| | 受信しにくい場所について | 31 |
| | 受信するまでの時間について | 31 |
| | オーディオ/テレビ/ラジオの設定について | 32 |
| | データベースについて | 33 |
| | 再生できるディスクについて | 34、35 |
| | 本機で再生できるディスク | 34、35 |
| | リージョン番号(地域番号)について | 35 |
| | ディスクの取り扱いかた | 36 |
| | ディスクを入れる/取り出すには (DVD/CDの場合) | 37 |
| | ディスクを取り出すには | 37 |
| | SDカード/USBメモリデバイス について | 38、39 |
| | SDカードの取り扱いかた | 40 |
| | SDカードを入れる/取り出すには | 41 |
| | SDカードを取り出すには | 41 |
| ディスプレイ部の角度を調整する | 42 | |
| 各部の名称とはたらき | 43 | |

| | | |
|--|--------------------------------------|-------|
| こ こ だ け 読 ん で も 使 え ま す P45~ | ナビゲーションの基本操作 | |
| | 地図を表示するには | 46、47 |
| | 現在地表示について | 47 |
| | 地図画面の見かた | 48、49 |
| | 地図を拡大/縮小する | 50 |
| | 地図の縮尺レベル | 51 |
| | 現在地を表示するには | 52 |
| | 表示された現在地が実際の現在地と 違う場合は | 52 |
| | 地図表示(方位)を切り替える | 53、54 |
| | 見たい地域を探す | 55 |
| | 地図を動かす(地図スクロール) | 55 |
| | メニュー項目一覧 | 56、57 |
| | Quick機能について | 58、59 |
| | 現在地表示時に Quick ボタンを タッチした場合 | 58 |
| | 地図スクロール時に 設定 ボタンを タッチした場合 | 59 |
| | メニューの基本操作 | 60 |
| | 地点を登録する | 61、62 |
| | 登録地点について | 62 |
| | 自宅を登録する | 63~65 |
| | 自宅の位置を変更するには | 65 |
| クイック ルート探索をする | 66、67 | |
| 現在地から目的地までのルート 探索する場合 | 66 | |
| 現在地から自宅までのルート 探索する場合 | 67 | |
| 右画面に地図を表示する | 68 | |
| 右画面の方位/縮尺スケールを 変えるには | 68 | |
| 音声案内について | 69、70 | |

| | | |
|---------------------|-------------------|-------|
| 目 的 地 P71~ | 目的地 | |
| | ルート探索条件の設定をする | 72~74 |
| | 住所で地点を探す | 75~77 |
| | リストから探す場合 | 75 |
| | 地名を入力して探す場合 | 75 |
| | 電話番号で地点を探す | 78~80 |
| | 個人宅の電話番号を入力した場合 | 79 |
| | 周辺地図が表示された場合 | 80 |
| | 施設の名前で地点を探す [50音] | 81~84 |
| | リストから“施設名”を選択する場合 | 82 |
| ハイブリッド検索で施設を選択する場合 | 82 | |
| 自宅周辺の地図を表示する | 85 | |

目次(2)

目的地

| | |
|----------------------------|--------|
| 施設のジャンルから地点を探す …… | 86~88 |
| リストを選択して探す場合 …… | 86 |
| ジャンル名を入力して探す場合 …… | 86 |
| 表示できる施設 …… | 89~91 |
| 登録地点で地点を探す …… | 92、93 |
| 目的地履歴の中から地点を探す・ 削除する …… | 94、95 |
| 地図を表示する場合 …… | 94 |
| 目的地履歴を削除する場合 …… | 95 |
| 郵便番号で地点を探す …… | 96 |
| 地名から地点を探す [50音] …… | 97、98 |
| 周辺にある施設から地点を探す …… | 99~101 |
| マップコードで地点を探す …… | 102 |
| 緯度・経度で地点を探す …… | 103 |
| 地図から地点を探す …… | 104 |

ルート

| | |
|-----------------------|---------|
| ルート | |
| ルート設定について …… | 106~108 |
| ルート探索について …… | 107 |
| 細街路探索について …… | 108 |
| 1ルート探索・複数ルート探索をする …… | 109~113 |
| 1ルート探索をする …… | 110~112 |
| 複数ルート探索をする …… | 113 |
| ルートを変更する …… | 114~121 |
| 出発地の変更 …… | 114、115 |
| 目的地の変更 …… | 116 |
| 目的地の追加 …… | 117 |
| 経由地の追加 …… | 117~119 |
| 経由地の変更/削除 …… | 120 |
| 経由地/目的地など地点の入れ替え …… | 120 |
| 探索条件の変更 …… | 121 |
| ルート案内をストップ/スタートする …… | 122 |
| 現在のルートを表示する …… | 123、124 |
| ルート詳細情報を表示するには …… | 123 |
| 現在のルートを保存する …… | 125 |
| 登録ルート …… | 126、127 |
| 保存したルートの呼び出し …… | 126 |
| 保存したルートの削除 …… | 127 |
| 現在のルートを削除する …… | 128 |
| 渋滞予測ルート探索をする …… | 129、130 |
| ルートから外れてしまったら(再探索) …… | 131 |
| 前方の道が通れない(迂回探索) …… | 132 |
| 渋滞地点を確認する …… | 133 |
| デモ走行をする …… | 134 |

情報

情報

VICS

| | |
|-------------------------------|---------|
| 交通情報(VICS情報)について …… | 136~138 |
| 交通情報(VICS情報)とは …… | 136 |
| 表示について …… | 136、137 |
| マーク一覧表 …… | 138 |
| VICS放送局 …… | 138 |
| 一般情報について …… | 139、140 |
| 一般情報とは …… | 139 |
| 表示について …… | 139 |
| 一般情報の内容(番組)について …… | 139 |
| 一般情報放送局 …… | 140 |
| 操作の前に …… | 141 |
| FM多重の項目一覧 …… | 141 |
| 操作画面について …… | 141 |
| 交通情報/一般情報を表示するには …… | 142 |
| 操作の流れ …… | 142 |
| 情報の消去について …… | 142 |
| 受信する情報(交通情報/一般情報)を 選ぶには …… | 143、144 |
| 交通情報(文字情報)/一般情報を 見るには …… | 145、146 |
| 交通情報(図形情報)を見るには …… | 147 |
| 緊急情報を見るには …… | 148、149 |
| 緊急情報について …… | 149 |
| 選局するには …… | 150~155 |
| 自動選局 …… | 150、151 |
| 手動選局 …… | 152、153 |
| エリア選局 …… | 154、155 |
| 放送局をプリセット(保存)する には …… | 156~158 |
| プリセットした放送局を呼び出すには …… | 157 |
| プリセットした放送局に上書きするには …… | 158 |

VICS(ビーコン)

| | |
|--|-----|
| ※本機で電波・光ビーコンからのVICS情報を するには、別売のVICS光・電波ビーコンユニ ットが必要です。 | |
| ビーコン情報を見るには …… | 159 |
| ビーコンの項目一覧 …… | 159 |
| ビーコン交通情報を見るには …… | 160 |
| 地図画面について …… | 160 |
| ビーコンの文字情報/図形情報(簡易図形)を 見るには …… | 161 |

情報

| | |
|------------------------|---------|
| ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには | 162、163 |
| 緊急情報について | 163 |
| ETC情報を見るには | 164、165 |
| 履歴を見る | 164 |
| 管理情報を表示する | 165 |
| 渋滞予測地図を見るには | 166、167 |
| おすすめを使う | 168～170 |
| おすすめドライブナビゲーターを選んだ場合 | 168、169 |
| おすすめアウトレットモールガイドを選んだ場合 | 170 |
| エコドライブ情報の設定をする | 171～175 |
| エコドライブ情報の設定をする場合 | 171、172 |
| 右画面にエコドライブ情報を表示する場合 | 172 |
| 評価履歴を見る場合 | 172 |
| 評価履歴を削除する場合 | 173 |
| グラフ表示で見る場合 | 174 |

NAVI設定

P177～

| | |
|------------------------|---------|
| NAVI設定 | |
| 走行速度を設定する | 178 |
| 自宅を登録する | 179 |
| 現在地(自車)の位置を変更する | 180、181 |
| ルート探索条件の設定をする | 182 |
| メイン画面(地図)の設定を変える | 183、184 |
| 右画面地図表示の内容を設定する | 185、186 |
| 3Dの角度を調整する | 187、188 |
| 地図の色を変える | 189、190 |
| 表示項目の設定を変える | 191～193 |
| ルート案内画面の設定を変える | 194～201 |
| ルート情報を表示する／しないにする場合 | 194、195 |
| 設定ルートの色を選ぶ場合 | 195 |
| 交差点情報を表示する／しないにする場合 | 196 |
| 方面看板を表示する／しないにする場合 | 197 |
| JCTビューを表示する／しないにする場合 | 198 |
| リアル3D交差点を表示する／しないにする場合 | 199 |
| 交差点拡大図を表示する／しないにする場合 | 200 |
| ランドマークを設定する | 202、203 |
| 自車マークの種類／色を変える | 204 |
| Quickメニューの設定を変えるには | 205、206 |

NAVI設定

| | |
|-----------------------------|---------|
| 軌跡を使う | 207～209 |
| 軌跡の記録を止めるには | 208 |
| 軌跡を表示するには | 208 |
| 軌跡の表示を止めるには | 208 |
| 軌跡を消去するには | 209 |
| 登録地点の編集／見る | 210～213 |
| 登録地点の並び替えをする | 214、215 |
| 登録地点の地図を呼び出す | 216 |
| 登録地点を削除する | 217 |
| 音声案内の音量を調整するには | 218、219 |
| 音声案内の音量を調整する場合 | 218 |
| 音声案内を止める場合 | 218 |
| レーンガイドをする場合 | 219 |
| 合流ガイドを止める場合 | 219 |
| VICSガイドを止める場合 | 219 |
| VICS表示の設定をする | 220、221 |
| レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について | 221 |
| ビーコン車種設定について | 222 |
| ビーコンの割込み表示を設定する | 223、224 |
| 渋滞情報保存時間を設定する | 225 |

システム設定

P227～

| | |
|---------------------------|---------|
| システム設定 | |
| ETCの各機能を設定するには | 228、229 |
| ETCについて | 230 |
| ETCの基本操作 | 231 |
| ETCを起動する | 231 |
| ETCカードを取り出す | 231 |
| ETCを利用するには | 232 |
| 料金所通過の方法 | 232 |
| メンテナンス情報を設定する | 233～236 |
| 日付の設定をする場合 | 233、234 |
| 通知開始日の設定をする場合 | 234 |
| 距離の設定をする場合 | 234 |
| 設定項目の名称を変更する場合 | 235 |
| メンテナンス情報のお知らせを止めるには | 236 |
| メンテナンス情報の設定を消去するには | 236 |
| 壁紙を変える | 237～239 |
| 画像を追加する | 240～242 |
| 画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする | 243、245 |
| オプションボタンの設定をする | 246、247 |
| 機能の内容について | 247 |
| キー操作音を設定する | 248、249 |

目次(3)

システム設定

| | |
|----------------------------|---------|
| データを初期化(消去)する | 250、251 |
| フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示するには | 252~257 |
| フロントカメラ/コーナーカメラの設定をする | 252、253 |
| フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示するには | 254 |
| リアカメラとコーナーカメラを組み合わせで使用する場合 | 254 |
| フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する | 255 |
| コーナーカメラガイドを表示するには | 256 |
| コーナーカメラガイドの見かた | 256、257 |
| カメラの映像について | 257 |
| QQコールを利用する | 258 |
| QQコールとは | 258 |
| QQコールを利用するまでの流れ | 258 |
| QQコールを表示する | 259 |

その他

P261~

| | |
|--------------------------|---------|
| 映像の調整のしかた | 262、263 |
| 明るさ調整の場合 | 262 |
| コントラスト調整の場合 | 263 |
| 色の濃さ調整の場合 | 263 |
| 色合い調整の場合 | 263 |
| 初期値に戻すには | 263 |
| メニューの配色を変える | 264 |
| 音声はそのまま画面を消すには | 265 |
| ナビゲーション画面から他のモードに替えるには | 266 |
| ナビゲーション画面を表示するには | 266 |
| ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞くには | 267 |
| 音楽/音声の再生を止めるには | 267 |
| ボタンの照明について | 268 |
| リアカメラ映像を表示するには | 269~271 |
| リアカメラ映像を表示するには | 269 |
| リアカメラガイドを表示するには | 269 |
| リアカメラガイドの見かた | 270 |
| 警告文の位置を下げるには | 271 |
| カメラの映像について | 271 |

その他

| | |
|-------------------------|---------|
| リモコンを使う | 272~287 |
| 安全上のご注意 | 272、273 |
| 使用上のご注意 | 274 |
| リモコンに電池を入れる | 275 |
| リモコンをホルダーから取りはずす | 276 |
| リモコンをホルダーに収める | 276 |
| リモコンの主な便利機能 | 277 |
| 各部の名称とはたらき | 278~285 |
| リモコンの10キーで文字を入力するには | 286 |
| 10キーでの文字の入力のしかた | 287 |
| ルート案内時の注意点 | 288~291 |
| 出発地・経由地・目的地の設定について | 292、293 |
| 経由地、目的地の登録のポイント | 292 |
| 経由地を使って上手にルートを作る | 293 |
| 地図ソフトについて | 294、295 |
| 地図に表示される記号 | 296、297 |
| 市街地図(12m/25mスケール)の収録エリア | 298~301 |
| 細街路(主要市区町村道路)探索エリア | 301 |
| VICSの概要 | 302、303 |
| VICS情報有料放送サービス契約約款 | 304、305 |
| 故障かな?と思ったら | 306~310 |
| こんなメッセージが出たときは | 311 |
| 初期設定一覧 | 312、313 |
| 別売品(システムアップ)について | 314、315 |
| 主な仕様 | 316 |
| 構成内容 | 317、318 |
| 保証/アフターサービスについて | 319 |

索引

P321~

| | |
|----|---------|
| 索引 | 322~324 |
|----|---------|

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

はじめに

| | |
|------------------------------------|-------|
| 安全上のご注意 | 18、19 |
| 使用上のご注意 | 20~22 |
| 主な特長 | 23~30 |
| GPS衛星の電波を受信するには | 31 |
| GPS(Global Positioning System)について | 31 |
| 現在地の誤差について | 31 |
| 受信しにくい場所について | 31 |
| 受信するまでの時間について | 31 |
| オーディオ／テレビ／ラジオの設定について | 32 |
| データベースについて | 33 |
| 再生できるディスクについて | 34、35 |
| 本機で再生できるディスク | 34、35 |
| リージョン番号(地域番号)について | 35 |
| ディスクの取扱いかた | 36 |
| ディスクを入れる／取り出すには | |
| (DVD／CDの場合) | 37 |
| ディスクを取り出すには | 37 |
| SDカード／USBメモリデバイスについて | 38、39 |
| SDカードの取扱いかた | 40 |
| SDカードを入れる／取り出すには | 41 |
| SDカードを取り出すには | 41 |
| ディスプレイ部の角度を調整する | 42 |
| 各部の名称とはたらき | 43 |

安全上のご注意

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

⚠警告： 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意： 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

：⊘は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれているものもあります。

：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描かれています。

⚠ 警告

 テレビ等を見たり、本機の操作をする場合は、車庫や屋内等の換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒の原因となります。



⚠ 注意

 走行中には、本機の操作やディスクの交換はしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。交通事故の原因となります。



 運転者がテレビ等を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。交通事故の原因となります。テレビ等は安全のため走行中は表示されません。

 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



 万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



 本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようご注意ください。火災や感電の原因となります。



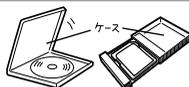
 本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

分解禁止



⚠ 注意

- ⊘ ナビゲーションの操作**
 ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
 ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- ⊘ 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**
 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ⊘ ディスク/SDカード挿入口に異物を入れないでください。**
 火災や感電の原因となることがあります。
- ⚠ 操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。**
 挟まれてケガをすることがあります。
- ⚠ ディスク/SDカード挿入口に手や指を入れないでください。**
 けがの原因となることがあります。
- ⊘ 本機を車載用として以外は使用しないでください。**
 感電やけがの原因となることがあります。
- ⚠ 長時間ご使用にならないときは、ディスク/SDカードを取り出しておいてください。**長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク/SDカードを傷める原因となることがあります。
- ⊘ エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。**
 車のバッテリーがあがる恐れがあります。
- ⚠ 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。**車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ⚠ ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。**
 交通事故の原因となることがあります。
- ⊘ 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。**
 液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
- ⊘ 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。**
 皮膚の炎症などの原因となることがあります。
 ● 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 ● 目に入ったたり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。
- ⚠ ディスク/SDカードを出し入れするときは、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。**
- ⊘ 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。**
 停車して操作する場合は、停車禁止区域以外の安全な場所に停車させてください。
- ⚠ 安全のため、走行中に操作できない機能があります。**
 画面に「走行中は音声をお楽しみください」等のメッセージが表示されますので、必ず安全な場所に停車して操作してください。



使用上のご注意(1)

温度について

極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。



結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびや映像が欠けるなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。



ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にいくと、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

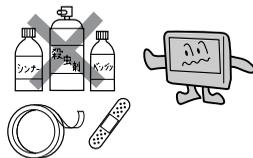
車のエンジン停止中でのご使用について

- 車のエンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがる恐れがあります。エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



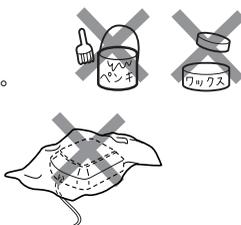
お手入れについて

- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
 清掃するときは、電源を切り柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。)
 めれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。



GPSアンテナについて

- GPSアンテナにペンキや車のワックスなどを塗らないでください。
 受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
 GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。
 受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- 雪などが積もったりした場合は、受信感度が低下したりすることがありますのでとり除いてください。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で乾拭きしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
 [設定]「データを初期化(消去)する」250、251ページ
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

使用上のご注意(2)

スマートキーの動作について

スマートキーが装着されている車両では、スマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺的环境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声の乱れや、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声の乱れが発生します。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

主な特長(1)

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

メンテナンス機能

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。

☞ 「メンテナンス情報を設定する」 233～236ページ

Quickメニューカスタマイズ機能

よく使う機能をQuickメニューに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuickメニューに設定できます。

☞ 「Quickメニューの設定を変えるには」 205、206ページ

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、テレビやDVDビデオ画面を表示中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

☞ 「ナビゲーション画面から他のモードに替えるには」 266ページ

☞ 「ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞くには」 267ページ

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

☞ 「現在地から目的地までのルートを探索する場合」 66ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておく、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

☞ 「現在地から自宅までのルートを探索する場合」 67ページ

住所や電話番号から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探することができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,400万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

☞ 「電話番号で地点を探す」 78～80ページ

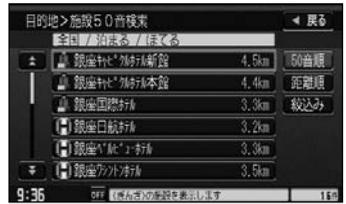
☞ 「住所で地点を探す」 75～77ページ

主な特長(2)

ハイブリッド検索

施設50音で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「名称」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

☞ 「施設の名前で地点を探す[50音]」
81~83ページ

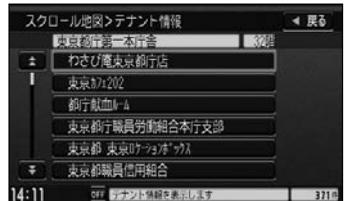


ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(12m/25m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

☞ 「Quick機能について」58、59ページ



- ※ ●データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
- ビル名のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。

目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称から高速道路の出入口、路線名、ジャンクション、渋滞/規制情報などを音声で案内します。

高速道路のジャンクションを拡大表示する(ジャンクションビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、ジャンクション、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
198ページ



行き方の候補を4種類表示(複数ルート探索)

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

自動(ナビゲーション本体がルートを自動的に)探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合の4種類の条件で一度に探索します。

- ☞ 「1ルート探索・複数ルート探索をする」
109～113ページ



進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
200ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを黄色で表示し、交差点情報を表示させることができます。

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
196ページ



案内標識を表示(方面看板)

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」
197ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



主な特長(3)

リアル3D交差点を表示(シティリアル交差点拡大)

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点)

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」199ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



ドライブコースをアドバイスする(おすすめドライブナビゲーター)

本機にあらかじめ収録されているおすすめのドライブコースやアウトレットモールを見ることができます。また、ドライブコース周辺の観光スポットや食事スポットの情報を見たりアウトレットモールの情報を見ることができます。

☞ 「おすすめを使う」168～170ページ



詳しい交通情報を教えてくれる

VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。

☞ 「VICS」136～158ページ

☞ 「VICS(ビーコン)」159～163ページ

統計交通情報

日時・曜日を指定して過去のVICS渋滞統計データから渋滞予測地図を表示することができます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」53、54ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法*1 & マップマッチング*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路に表示させる機能です。

エコドライブ

GPSの信号や車速情報を基に、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。☞「エコドライブ情報の設定をする」171～175ページ

QQコール機能

QQコール ボタンタッチでQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要になります。

☞「QQコールを利用する」258ページ

☞オーディオ編(別冊)

Music Rack機能

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。(自動録音設定時) Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム名/アーティスト名/ジャンル/ミュージックエスコート)選曲メニューに振り分けられるため、絞り込んだ検索ができ便利です。

マッハリッピング機能

本機へ音楽CDを録音するとき、再生させながら録音する等速リッピングと最大14倍速で録音していくマッハリッピングがあります。マッハリッピングにより録音時間の短縮ができ便利です。

BeatJam対応

本機へ録音した音楽ファイルを付属のBeatJamソフトをインストールしたパソコンへ移動し、パソコン上で音楽ファイルを管理することができます。また、パソコン上で管理している音楽ファイルを本機へ転送して聞くこともできます。パソコンから転送できる音楽データはATRAC3・ATRAC3plusのみです。

主な特長(4)

地上デジタルテレビ

オーディオ編(別冊)

地上デジタルテレビ放送とワンセグ

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示したり、番組表から今放送中の番組を選局することもできます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

12セグ/ワンセグ自動切替機能

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

DVDビデオ/CD/ラジオ

オーディオ編(別冊)

CPRM対応

本機では、DVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)にて録画されたディスクが再生できます。さらに、地上デジタルテレビ放送など「1回だけ録画可能」な番組を録画されたCPRM対応のディスクが再生できます。

マルチ音声機能

好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ字幕機能

好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチアングル機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

道路交通情報

交通情報を1620kHzまたは1629kHzに合わせて受信することができます。

☞ オーディオ編(別冊)

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。

オプションボタン選択機能

本機の(OPTION)ボタン(●)によく使う機能を設定することができます。

※別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合はできません。

☞ 246、247ページ

リアカメラ対応

別売のリアカメラを接続すれば、車のシフトレバーをリバースに入れたとき、画面をリアカメラ映像にすることができます。

☞ 271～273ページ

フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。

☞ 269～271ページ

コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。

☞ 252～257ページ

ETC対応

別売のETCユニットを接続するとETCユニットの出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

☞ 164、165、228～232ページ

リアモニター対応

別売のリアモニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。

☞ 別冊のオーディオ編326ページ

主な特長(5)

その他

VTRコード対応

別売のVTRコードを使用して市販のビデオカメラなどを接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

☞別冊のオーディオ編256、257ページ

VICSビーコン対応

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。

☞159～163、222～224ページ

USB対応

別売のUSBコードを使用してUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ／(ATRAC AD対応)ウォークマン)のJPEG画像データ／音楽データの再生をすることができます。

☞240～244ページ

☞別冊のオーディオ編277～300ページ

iPod対応

別売のiPod接続コードを使用して、本機で音楽再生や映像再生などのiPodの操作をすることができます。

☞別冊のオーディオ編301～320ページ

SDカード対応

市販のSDカードを使用してJPEG画像を見る、または追加したり、音楽データを再生することができます。

☞240～245ページ

☞別冊のオーディオ編 259～275ページ

広視野角液晶ディスプレイ

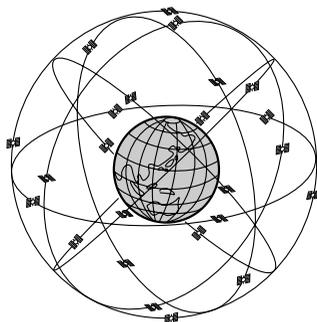
広視野角液晶ディスプレイを使用しているため、どの角度からでも美しい画面を見ることができます。

GPS衛星の電波を受信するには

GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※ 本機では高度は表示しません。



はじめに

【主な特長】

／ GPS衛星の電波を受信するには

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m~200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

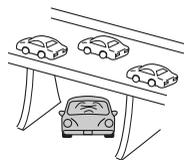
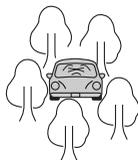
受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。

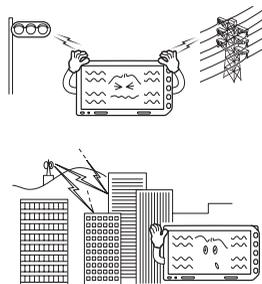
本機を取り付け後は車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。)通常は電源を入れてから数分で表示します。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場、スピーカー仕様などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信（ハイビジョン放送等）や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenote Databaseについて

音楽認識技術と関連情報は、Gracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2007 Gracenote. Gracenote Software：Copyright©2000-2007 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提出されました。

GracenoteおよびCDDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください。
：www.gracenote.com/corporate



「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスク



DVD+RW
DVD-RW

DVD+R
DVD-R

DVD+R DL
DVD-R DL



MP3

WMA

CD-R

CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ、指紋など、車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再録音した場合は、再生できない場合があります。

※はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG ●フォトCD ●CD-ROM ●CD-EXTRA ●VIDEO CD ●Blu-ray
- SA-CD ●DVD-ROM ●DVD-RAM ●DVDオーディオ ●SVCD ●HDD-DVD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DL/DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- CD-R/CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただし、MP3/WMAは再生できます。)
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダによって
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3/WMAにつきましては、別冊のオーディオ編の132～135ページをご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RWのビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- BSデジタル、地上デジタルテレビ放送、一部のスカイパーフェクTVなどの「一回だけ録画可能(コピーワンス)」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RWにビデオレコーディングモードで記録されたものに限り可能です。

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。
※アダプターを使用しても再生できません。

■dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discを使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、ディスクに傷がつく場合があります。

リージョン番号(地域番号)について



本機のリージョン番号は「2」です。

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。

本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

(例)



アドバース

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。

- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。

- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。

- 長時間使用しないときは汚れ、ゴミ、キズをつけたり、ディスクがそらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所には放置しないでください。

- ・特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上など。
- ・湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
- ・暖房器具の熱が直接あたる場所。

- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなどの誤動作の原因になる場合がありますので、ケースからの出し入れにご注意ください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

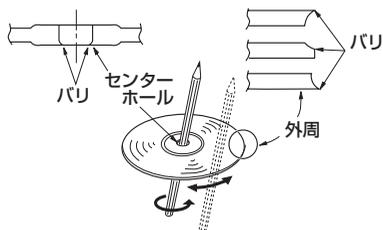
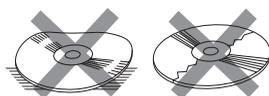
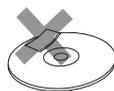
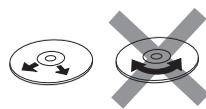
- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。

これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。

この場合には右図のように、あらかじめ鉛筆等でバリを取り除いてからお使いください。

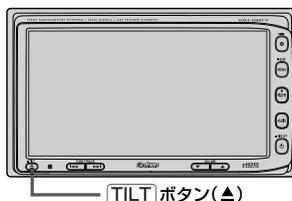
- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。

※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。

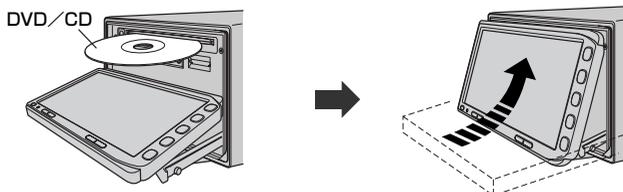


ディスクを入れる／取り出すには (DVD／CDの場合)

- 1** **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイ部が開きます。



- 2** DVD/CD挿入口にDVD／CDを挿入すると自動でディスプレイ部が閉じる。



DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出すには

- 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、**DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押してDVD／CDを取り出す。
- TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間ご使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- DVD／CDをセットしたときはDVD／CDの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中で**TILT**ボタン(▲)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- ディスクを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

はじめに

〔ディスクの取り扱い〕 / 〔ディスクを入れる／取り出すには〕

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■16GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作補償できません。  別冊のオーディオ編 270ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 「データを初期化(消去)する」250、251ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごとと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチをO(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

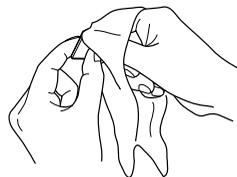
■静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

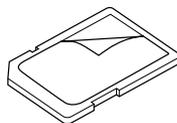
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」54～61ページ
 - 画像の追加やコピー  「画像を追加する」240～242ページ
「画像をコピーする」243～245ページ
 - 別冊のオーディオ編 音楽再生  251～267ページ
※対応可能なSDカードと再生につきましては253ページを参照ください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - 別冊のオーディオ編 ローカルアップデート
 「Gracenoteデータベースの更新をするには」56～58ページ
 - 画像の追加やコピー  「画像を追加する」240～242ページ
「画像をコピーする」243～245ページ
 - 別冊のオーディオ編 音楽再生  269～292ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「Lock」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

SDカードの取り扱いかた

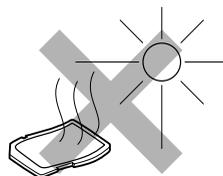
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



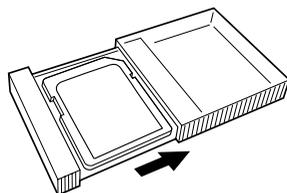
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



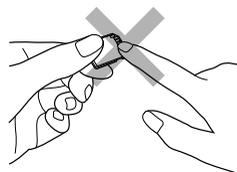
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SDカードが使用できなくなる場合があります。



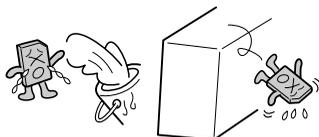
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

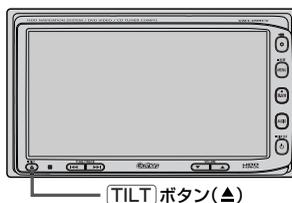


- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

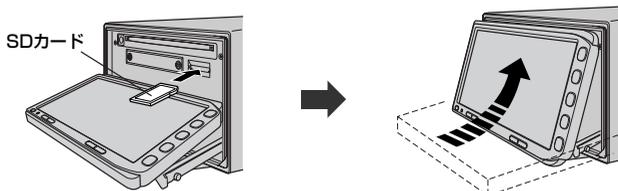


SDカードを入れる／取り出すには

- 1 **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイ部が開きます。



- 2 SDカード挿入口にSDカードを差し込むと自動でディスプレイ部が閉じる。



ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで挿入してください。

SDカードを取り出すには

1. 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。
2. **TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠ 注意

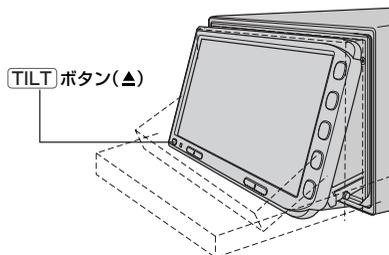
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に**TILT** ボタン(▲)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードを出し入れするときには、安全の為、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- SDカードの抜き差しは、ナビゲーションモードの場合は必ず車のエンジンスイッチを0(OFF)に、AUDIOモードの場合は必ず操作パネル上の**電源** ボタン(⏻)を押してモードを終了(OFF状態)にさせてください。終了させないで外すとデータやSDカードがこわれるおそれがあります。

ディスプレイ部の角度を調整する

1

TILT ボタン(▲)を長押しする。(約0.7秒以上)

ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。(全5段階)



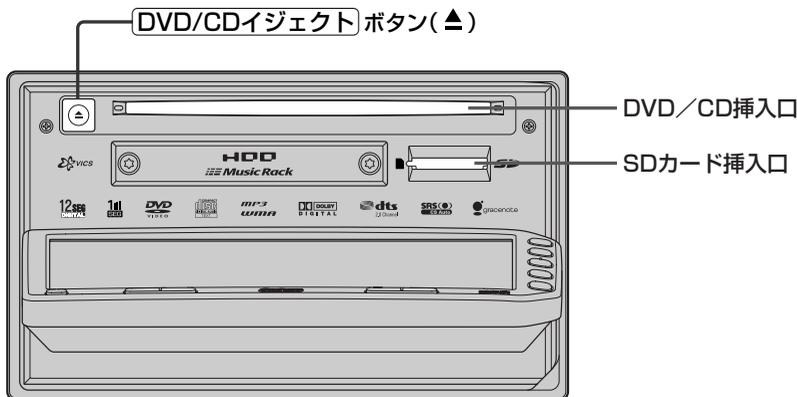
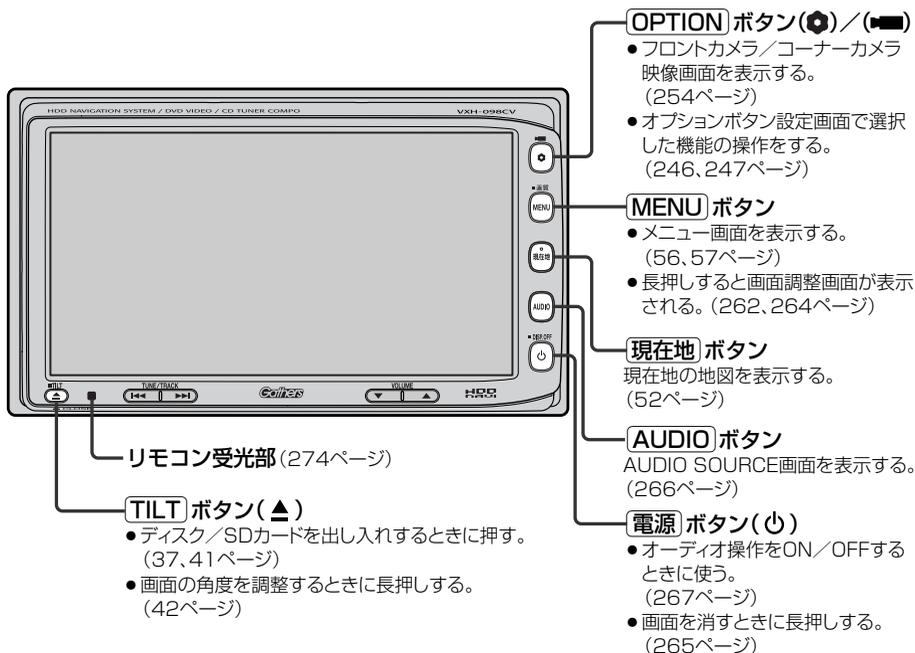
角度調整をしても車のエンジンスイッチを0(OFF)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じます(収納される)が、次回、車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



角度調整をするときは手や指などはさまないよう注意してください。けがや、ディスプレイの故障原因になります。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。





ここだけ読んでも使えます

| | |
|----------------------------------|-------|
| 地図を表示するには | 46、47 |
| 現在地表示について | 47 |
| 地図画面の見かた | 48、49 |
| 代表的な画面の表示内容について | 48 |
| 地図を拡大／縮小する | 50 |
| 地図の縮尺レベル | 51 |
| 現在地を表示するには | 52 |
| 表示された現在地が実際の現在地と違う場合は | 52 |
| 地図表示(方位)を切り替える | 53、54 |
| 見たい地域を探す | 55 |
| 地図を動かす(地図スクロール) | 55 |
| メニュー項目一覧 | 56、57 |
| Quick機能について | 58、59 |
| 現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合 | 58 |
| 地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合 | 59 |
| メニューの基本操作 | 60 |
| 地点を登録する | 61、62 |
| 登録地点について | 62 |
| 自宅を登録する | 63～65 |
| 自宅の位置を変更するには | 65 |
| クイックルート探索をする | 66、67 |
| 現在地から目的地までのルートを探る場合 | 66 |
| 現在地から自宅までのルートを探る場合 | 67 |
| 右画面に地図を表示する | 68 |
| 右画面の方位／縮尺スケールを変えるには | 68 |
| 音声案内について | 69、70 |

地図を表示するには

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にする。
起動初期画面が表示され、しばらくすると現在地画面が表示されます。

起動初期画面



「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後、前回のエンジンスイッチを 0 (OFF) にしたときに表示していたモードの画面になります。ナビゲーション画面にするには、**現在地** ボタンを押してください。

測位計算中

現在地表示画面



GPS受信表示

黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。
(GPSを使った測位ができる。)
灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。
(GPSを使った測位ができない。)
※測位計算中も、灰色のままです。

自車マーク



- 画面の明るさを調整することができます。☞「映像の調整のしかた」262、263ページ
- 現在地表示画面の見かたについては、「現在地を表示するには」52ページをご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波を受信するには」31ページをご覧ください。

現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。

☞ 「GPS衛星の電波を受信するには」 31ページ
「現在地を表示するには」 52ページ

- **方位** ボタン()の背景の色で、現在の測位の状態がわかります。このボタンが灰色の場合は、「GPS衛星の電波を受信するには」(31ページ)にしたがって、電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。

GPS受信表示



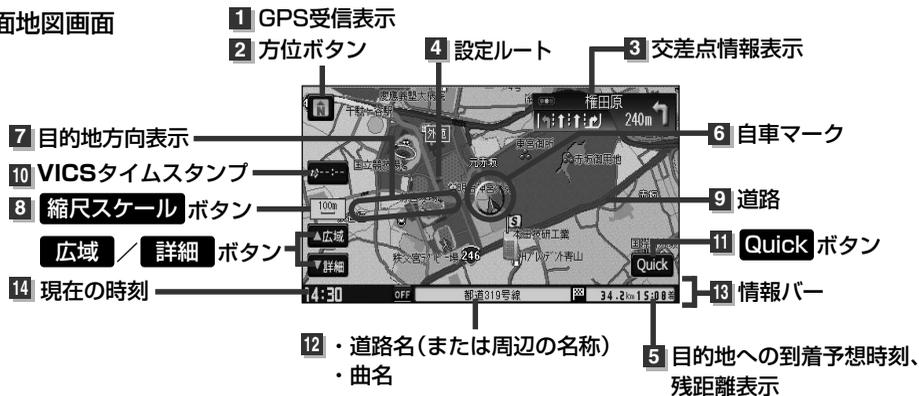
「ここだけ読んで使えます」
「地図を表示するには」

地図画面の見かた

代表的な画面の表示内容について

ナビゲーションシステムでは、いろいろな情報を地図画面に表示しています。

平面地図画面



1 GPS受信表示

現在地の測位の状態を背景色の色で示します。
黄色：現在地の測位ができています。
灰色：現在地の測位ができていない、
または測位計算中。



測位に時間がかかる場合があります、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

2 方位ボタン

▲の先端の方向が北を示します。

3 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を黄色で表示します。

4 設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)が太いピンク色または緑色(設定による「設定ルートの色を選ぶ」195ページ)で表示されます。探索されたルート上の細街路は、黄色で表示されます。有料道路は青色で表示されます。

5 目的地への到着予想時刻、残距離表示

ルート案内時に、目的地への到着予想時刻と残距離を示します。

6 自転車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

7 目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を示します。

8 縮尺スケールボタン

広域 / 詳細 ボタン

● 地図のスケールを示す／変更します。

9 道路

道路の種類を色で区別しています。

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路(経路案内対象)

灰色(細線)：細街路(経路案内対象外)

薄紺色：フェリー航路(経路案内対象外を含む)

※経路対象・経路対象外ともに破線表示

※市街地図の場合、上記と異なる色で表示されます。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として道路種別を表す色の破線として表示されます。

10 VICSタイムスタンプ

● VICS情報が提供された時刻を示します。

☞ 137ページ

● 渋滞／規制地点を表示します。

☞ 133ページ

11 Quickボタン

☞ 58ページ

12 道路名(または周辺の名称)・曲名

☞ 193ページ

13 情報バー

14 現在の時刻

3D地図画面



1 立体アイコン

ビルなどをリアルな3Dアイコンで表示します。

2 自車マーク

走行中自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

地図を拡大／縮小する

1

地図画面で、**広域**／**詳細** ボタンまたは**縮尺スケール** ボタンをタッチする。

：**広域**／**詳細** ボタンをタッチするたびに、スケールが変わります。

※右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の**縮尺スケール** ボタンをタッチして、同じように操作してください。



1



縮尺スケール ボタン

タッチすると選択したスケールで表示します。

スケール表示



拡大（詳細地図）



詳細 ボタンをタッチ



広域 ボタンをタッチ

縮小（広域地図）



アドボイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。” “より広域の地図を表示します。” と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、**広域**／**詳細** ボタンをタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めた所の縮尺レベルで止まります。（2画面時の右画面のフリーズームはできません。）縮尺レベルについては「地図の縮尺レベル」（51ページ）をご覧ください。
- 市街地図データの収録エリアは、 「市街地図の収録エリア」298～301ページをご覧ください。
- 市街地図（12m／25m）から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設（物件）にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチし設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチすると、テナント情報を見ることができます。（ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号など施設の詳細情報を確認することができます。）
※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。

地図の縮尺レベル

※下記縮尺レベルは全画面(平面／3D)／2画面(左／右画面)表示時共通です。

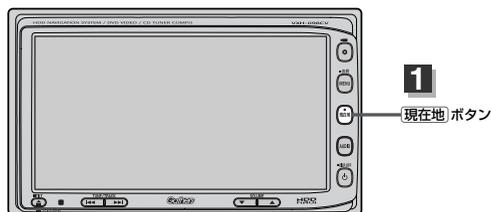
| 地図縮尺 | スケール |
|---------|-------|
| 1/1562 | 12m |
| 1/3125 | 25m |
| 1/6250 | 50m |
| 1/12500 | 100m |
| 1/25000 | 200m |
| 1/5万 | 500m |
| 1/10万 | 1km |
| 1/20万 | 2.5km |
| 1/40万 | 5km |
| 1/80万 | 10km |
| 1/320万 | 25km |
| 1/1280万 | 100km |
| 1/2560万 | 250km |

ここだけ読んで使えます

〔地図を拡大／縮小する〕／〔地図の縮尺レベル〕

現在地を表示するには

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。



1 現在地 ボタンを押す。

：現在地の地図が表示されます。

方位表示 ボタン

▲の先端の方向が北を示します。

GPS受信表示

黄色：GPS衛星電波の受信状態が良い。(GPSを使った測位ができる。)

灰色：GPS衛星電波の受信状態が悪い。(GPSを使った測位ができない。)
または、測位計算中。

VICSタイムスタンプ



自車マーク

自車の現在地を示します。マークの種類／色を変えることができます。

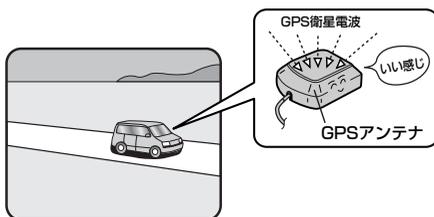
☞ 「自車マークの種類／色を変える」
204ページ

道路名(または周辺の名称)

☞ 「表示項目の設定を替える」
193ページ

表示された現在地が実際の現在地と違う場合は・・・

GPS受信表示が黄色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



自車マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。

現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 180、181ページ

地図表示(方位)を切り替える(1)

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。
画面には、「北方向を上」、「進行方向を上」、「3Dビュー」の3種類があります。

- ☞ 「メイン画面(地図)の設定を変える」 183、184ページ
- ☞ 「右画面地図表示の内容を設定する」 185、186ページ

1 地図画面の**方位**ボタン()をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。



● 「進行方向を上」

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。
走行に合わせて地図が回転します。



● 「北方向を上」

地図の動きが気になるときは、北方向を上
に固定できます。



● 「3Dビュー」

進行方向は常に画面の上方向になります。



「ここだけ読んで使えます」

「現在地を表示するには」

「地図表示(方位)を切り替える」

地図表示(方位)を切り替える(2)

平面地図画面とは

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。



3Dビューとは

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。



アドハイス

- 地図表示(方位)は **MENU** → **NAV設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **次へ** の **北向き** / **進行方向** / **3D** で設定することもできます。

☞ 「メイン画面(地図)の設定を変える」183ページ

「右画面地図表示の内容を設定する」185、186ページ

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物がかさなり文字が見えにくくなる場合があります。

見たい地域を探す

見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図を動かす(地図スクロール)

例 平面地図画面で現在地の右上側の地図を表示する場合

- 1 地図の右上側をタッチする。
：地図がスクロールされ右上側の地図を表示します。



- スクロール枠の中を軽くタッチ：微調整できます。
長めにタッチ：低速で動きます。
スクロール枠の外を軽くタッチ：タッチしたところを中心に高速移動します。
長めにタッチ：高速で動きます。



アドバイス

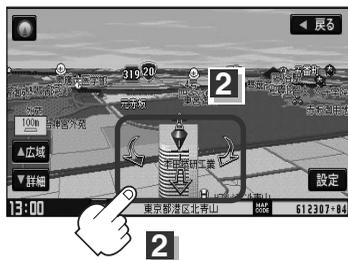
- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- 現在地に戻るときは、**[現在地]** ボタンを押すか画面の **[戻る]** ボタンをタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 走行時は、地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

- 1 画面をタッチする。
： /  /  /  ボタンが表示されます。

- 2 動かしたい方向の  /  /  /  ボタンをタッチする。

- ：上側にスクロールします。
- ：下側にスクロールします。
- ：カーソルを中心に左回転(反時計まわり)します。
- ：カーソルを中心に右回転(時計まわり)します。



アドバイス

-  /  /  /  ボタンを軽くタッチすると微調整ができます。長めにタッチすると設定した速度で動かすことができます。
- 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自転車マークは  になります。

「ここだけ読んで使えます」

「地図表示(方位)を切り替える」 / 「見たい地域を探す」

メニュー項目一覧

走行中操作できない項目は暗くなります。

ナビゲーションでは、各項目を選択してさまざまな操作を行ないます。**(MENU)** ボタンを押しトップメニューを表示させお好みのメニューを選び、サブメニューの中から、実行したい項目をタッチして各操作に入ります。



トップメニュー(目的地)

サブメニュー

目的地をいろいろな方法で設定します。

- 住所 75～77ページ
- 電話番号 78～80ページ
- 施設50音 81～84ページ
- 自宅 85ページ
- ジャンル 86～88ページ
- 登録地点 92、93ページ

- 地図から 104ページ
- 探索条件 72～74ページ



- 目的地履歴 94、95ページ
- 郵便番号 96ページ
- 地名50音 97、98ページ
- 周辺施設 99～101ページ
- マップコード 102ページ
- 緯度経度 103ページ



トップメニュー(ルート)

サブメニュー

ルートの設定や設定したルートの確認や修正などを行ないます。

- ルート編集 110～118、120、121、132ページ
- 案内スタート/ストップ 122ページ
- 全ルート表示 123、124、134ページ
- ルート保存 125ページ
- 登録ルート 126、127ページ
- ルート削除 128ページ
- 予測回避 129、130ページ



サブメニュー

各種情報を見たりします。

- FM多重 143～158ページ
- ビーコン 159～163ページ
- ETC情報 164、165ページ
- 渋滞予測地図 166、167ページ
- おすすめ 168～170ページ
- エコドライブ情報 171～175ページ

- **ビーコン** ボタンは別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
- **ETC情報** ボタンは別売のETCユニット接続時に表示されます。



サブメニュー

自宅登録や登録地点編集などを行いません。

- 基本設定 178～182ページ
- 表示設定 183～204ページ
- Quickメニュー 205、206ページ
- 走行軌跡 207～209ページ
- 登録地点編集 210～217ページ
- 音声案内設定 218、219ページ
- VICS設定 220～225ページ



サブメニュー

ナビゲーションシステムの各機能を設定します。

- ETC設定 228、229ページ
- メンテナンス 233～236ページ
- 壁紙 237～245ページ
- オプションボタン 246、247ページ
- その他 248～251ページ
- カメラ 252～257ページ
- QQコール 259ページ

- **カメラ** ボタンは別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。
- **QQコール** ボタンは販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合には表示されます。

Quick機能について

操作できないボタンは暗くなります。

本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能を設けています。

Quickメニューを表示させるには **Quick** ボタン（現在地表示時）、設定メニューを表示させるには **設定** ボタン（地図スクロール時）をタッチします。

（**次へ** / **前へ** ボタン=ページ送り/戻し、**閉じる** ボタンまたは **戻る** ボタン=Quick機能閉じる）

現在地表示時に **Quick** ボタンをタッチした場合

自宅へ 自宅までのルートを探します。（クイックルート探索  67ページ）
※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
 「自宅を登録する」63～65ページ

地点を登録 地点の登録を行います。  「地点を登録する」61ページ

右画面地図 タッチするたびに、2画面表示（右画面地図） \leftrightarrow 全画面表示と切り替わります。
（選択時ボタン点灯）  「右画面に地図を表示する」68ページ
※ルート情報を表示中はボタンをタッチしても右画面に地図は表示されません。

ルート情報 右画面にルート情報を表示します。
タッチするたびに、2画面表示（右画面ルート情報） \leftrightarrow 全画面表示 / 右画面地図表示と切り替わります。
（選択時ボタン点灯）  「ルート案内画面の設定を変える」194、195ページ
※この機能を使うにはあらかじめルートを設定しておく必要があります。

予測回避 過去のVICS渋滞統計データをもとに日時を指定してルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をします。  「渋滞予測ルート探索をする」129、130ページ

再探索 ルート案内時に設定ルートから外れてしまった場合、探索条件を変えて、再探索することができます。
 「ルート探索条件の設定をする」72～74ページ / 「ルートから外れてしまったら」131ページ
※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。（ボタンは暗くなります）

案内スタート / タッチするたびに、ルート案内スタート \leftrightarrow ストップが切り替わります。

案内ストップ  「ルート案内をストップ/スタートする」122ページ
※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。（ボタンは暗くなります）

エコドライブ画面 右画面にエコドライブ情報を表示します。タッチするたびに、2画面表示（右画面エコドライブ情報） \leftrightarrow 全画面表示と切り替わります。（選択時ボタン点灯）
※この機能を使うにはあらかじめエコドライブ評価の開始をする設定にしておく必要があります。
 「**エコドライブ情報の設定をする**」172ページ



よくお使いになる機能を現在地表示時のQuickメニューに追加することができます。

 「Quickメニューの設定を変えるには」205、206ページ

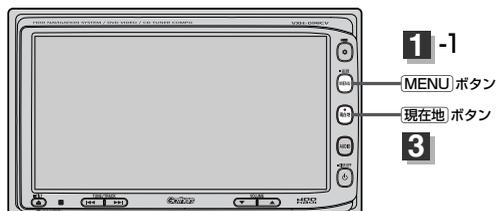
地図スクロール時に設定 ボタンをタッチした場合

- 目的地に設定する** — 目的地を登録し、ルートを探します。☞ 「クイックルート探索をする」 66ページ
- 出発地に設定する** * — 出発地を登録し、ルート探索します。☞ 「**出発地の変更**」 114、115ページ
※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。
- 経由地に設定する** * — 経由地を登録し、ルート探索します。
☞ 「**経由地の追加**」 / 「**経由地の変更** / 削除」 117～120ページ
- 複数探索** — 複数ルート探索を行ないます。☞ 「1ルート探索・複数ルート探索をする」 113ページ
- 経由地を追加する** * — 経由地を登録し、ルートを探します。☞ 「**経由地の追加**」 119ページ
※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。
- 自宅に設定する** * — 自宅を登録します。☞ 「自宅を登録する」 63～65ページ
※地点編集画面 / 基本設定画面で自宅の登録を行なう場合に表示されます。
- テナント情報** — テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。☞ 「主な特長」 24ページ
※12m / 25m縮尺レベルでテナント情報のある物件にカーソルをあわせませす。
- 地点を登録する** — 地点の登録を行ないます。☞ 「地点を登録する」 61ページ
- 地点を編集する** — 登録地点の編集や並替え、削除ができます。
☞ 「登録地点の編集 / 見る」 210～213ページ
「登録地点の並び替えをする」 214、215ページ
「登録地点を削除する」 217ページ
※登録地点マークにカーソルをあわせませす。
- 周辺の施設検索** — スクロール先の周辺施設を検索することができます。
☞ 「周辺にある施設から地点を探す」 99～101ページ

*印：地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

メニューの基本操作

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。本機をお使いいただく上で、大切な基本操作ですので、ぜひ、マスターしてください。
本書では、パネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明。)と画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明。)を使って操作説明をしています。

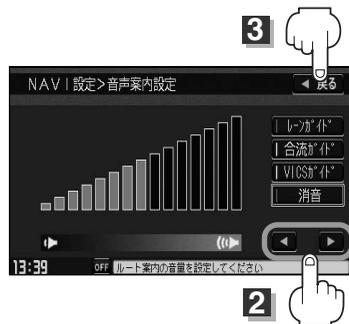


例 音声案内の音量を調整する場合

- 1** **MENU** ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
音声案内設定 ボタンをタッチする。
：音声案内設定画面が表示されます。



- 2** **◀** / **▶** ボタンをタッチして、
お好みの音量に調整する。
調整時に“この音量でご案内します。”と音声
が鳴ります。



- 3** 設定を終わるには・・・
戻る ボタンをタッチする。
：設定を保存し、メニュー画面に戻ります。
※ **MENU** ボタンを押すとメニュー画面に戻り、**現在地** ボタンを押すと現在の地図画面に戻ります。
※画面に操作説明が表示された場合は、説明にしたがってください。

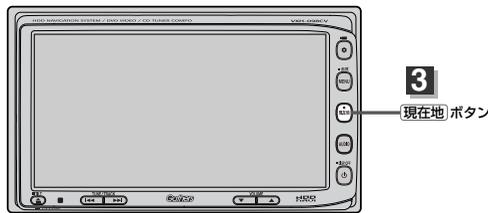


設定を変更するときに**決定**ボタンが表示される場合は**決定**ボタンをタッチして設定を保存してください。**決定**ボタンをタッチしないで、**現在地** / **MENU** ボタンを押したり、**戻る** ボタンをタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

地点を登録する(1)

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大100か所・自宅含む)

「ここだけ読んで使えます」



1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定** ボタンをタッチする。

：設定メニューが表示されます。

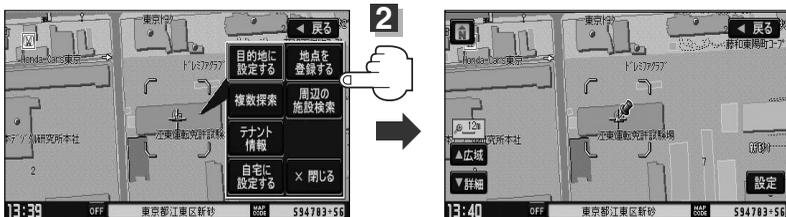
最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなるよ！



「メニューの基本操作」

2 **地点を登録する** ボタンをタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



「地点を登録する」

3 設定を終わるには・・・

戻る ボタンをタッチするか**現在地** ボタンを押す。

：現在地の地図画面に戻ります。



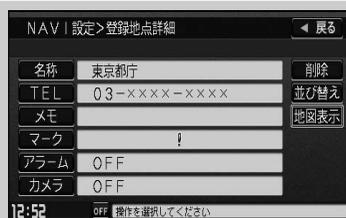
- 現在地(自車マーク位置)に地点を登録する場合は、現在地表示のときに **Quick** ボタンをタッチし、**地点を登録** ボタンをタッチしても登録できます。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、手順 **2** の **地点を登録する** ボタンをタッチした後に登録地点かカメラ地点のどちらで登録するかメッセージが表示されます。カメラ地点で登録する場合は「**フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する**」255ページをご覧ください。

地点を登録する(2)

登録地点について

登録地点の名称、マーク、アラーム、カメラ(別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時)は変更することができます。また、TEL(電話番号)、メモを登録することもできます。

☞ 「登録地点の編集/見る」 210～213ページ



登録地点の地図は、**MENU** → **目的地** → **登録地点** で、呼び出すことができます。

☞ 「登録地点で地点を探す」 92ページ

また、☞ 「登録地点の地図を呼び出す」 216ページでも呼び出せます。

ルート設定で出発地/経由地/目的地を登録するときに、登録地点を使ってすばやくできます。

☞ 「1ルート探索・複数ルート探索をする」
109～113ページ



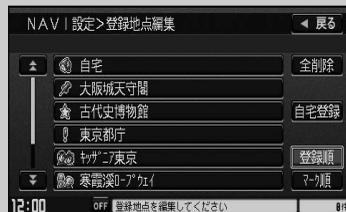
地図上の登録地点マークは、**MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **次へ** 5回タッチ(⑥ページを表示) → 登録地点を表示を **しない** にすると、表示されません。

☞ 「表示項目の設定を変える」 191～193ページ

自宅は、必ず、登録地点編集リストの最初に登録されます。また、自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までの参考ルートを探る)ができます。

☞ 「Quick機能について」 58ページ

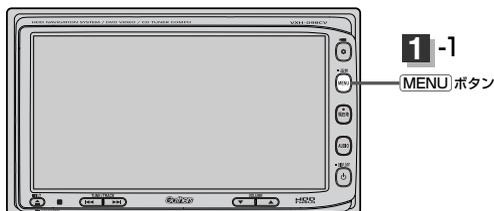
「**現在地から自宅までのルートを探る場合**」 67ページ



自宅を登録する(1)

自宅を登録しておくと、自宅までの参考ルートを探ることができます。

「ここだけ読んで使えます」



- 1** **MENU** ボタンを押し、
NAVI設定 ボタンをタッチして、
登録地点編集 ボタンをタッチする。

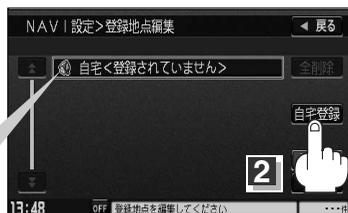
：登録地点編集画面が表示されます。



- 2** **自宅登録** ボタンをタッチする。

：自宅登録設定画面が表示されます。

- 自宅を登録すると“<登録されていません>”の表示は消えます。
- ここをタッチして自宅登録設定画面を表示することもできます。



「地点を登録する」 / 「自宅を登録する」

 **MENU** → **NAVI設定** → **基本設定** → **自宅登録設定** ボタンをタッチして自宅登録設定画面を表示させることもできます。

 「自宅を登録する」179ページ

- 3** 登録方法を選び、タッチする。



自宅を登録する(2)

- **地図から** : この画面に入る前の地図を表示
- **現在地付近** : 現在地の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地の地図を表示
- **住所** [P 75~77ページ]
- **電話番号** [P 78~80ページ]
- **施設50音** [P 81~84ページ]
- **ジャンル** [P 86~88ページ]
- **登録地点** [P 92、93ページ]
- **目的地履歴** [P 94、95ページ]
- **郵便番号** [P 96ページ]
- **地名50音** [P 97、98ページ]
- **周辺施設** [P 99~101ページ]
- **マップコード** [P 102ページ]
- **緯度/経度** [P 103ページ]
- **自宅** : すでに自宅が登録されている場合に、登録済の周辺地図を表示 [P 85ページ]

例 住所から自宅を探し登録する

- ① **住所** ボタンをタッチする。
- ② リストから画面にしたがって“都道府県名”“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。

: 自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。

(**地図から** / **現在地付近** / **出発地付近** /

目的地付近 ボタンで探索した場合は、地図のみ表示されます。)

[P 検索方法は「住所で地点を探す」の手順 **2**、**3** (75~77ページ)を参照。



- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。) また、頭文字をタッチするたびに頭文字の行の文字が順に表示されます。
- **地名入力** ボタンをタッチすると地名50音検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。[P 「住所で地点を探す」75~77ページ]
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 入力した番地が収録されていない場合は、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、**戻る** ボタンをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

4

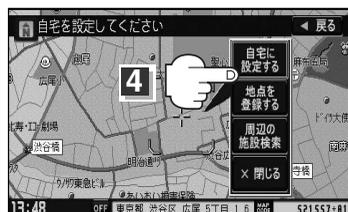
自宅を登録します。

- 表示された位置で良い場合

自宅に設定する をタッチする。

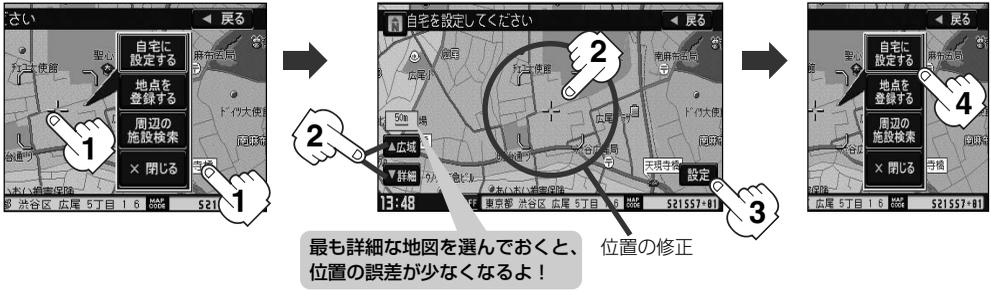
- 地図のみ表示された場合

設定 ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**自宅に設定する** ボタンをタッチする。



■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

閉じる ボタンまたは地図画面をタッチし、設定メニューを閉じる。修正や変更が終わったら、**設定** ボタンをタッチして再び設定メニューを表示させ、**自宅に設定する** ボタンをタッチする。



：登録地点編集画面に戻ります。登録した位置を確認したい場合は**自宅** ボタンをタッチし、**地図表示** ボタンをタッチすると地図が表示されます。(地図上には📍マークが表示されます。)

※ **MENU** → **NAVI設定** → **基本設定** → **自宅登録設定** で自宅を登録した場合は基本設定画面に戻ります。📄 179ページ



- 自動的にマークは📍になります。マークを変更したい場合は210～213ページを参照してください。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、手順**2**の**地点を登録する** ボタンをタッチした後に登録地点かカメラ地点のどちらで登録するかメッセージが表示されます。カメラ地点で登録する場合は📄 「**フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する**」 255ページをご覧ください。
- すでに自宅を登録している場合は、自宅変更の確認画面が表示されます。
- MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **次へ** 5回タッチ(⑥ページを表示) → 登録地点を表示を**しない**にしている場合は、地点を登録しても地図上にマークはあらわれません。📄 「表示項目の設定を変える」 191～193ページ
- 登録した自宅は削除することができます。📄 「登録地点を削除する」 217ページ

自宅の位置を変更するには

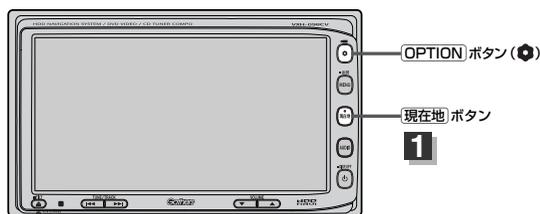
登録した自宅の位置を変更することができます。

1 手順 **1** ～ **4** (63～65ページ)にしたがって操作する。
：手順 **4** (64、65ページ)のとき **自宅に設定する** ボタンをタッチすると変更確認画面が表示されます。

2 **はい** ボタンをタッチする。
：位置が変更され、登録地点編集画面に戻ります。

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。



現在地から目的地までのルートを探索する場合

1 **現在地** ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示するには」 52ページ



自車マークの位置/角度がまちがっている場合は、修正してください。

☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 180、181ページ

方位表示の背景が黄色ならOK!



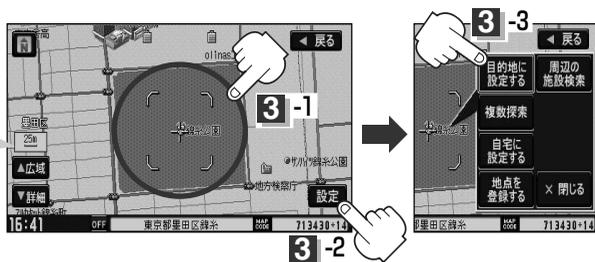
現在地表示画面(例)

2 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

☞ 「見たい地域を探す」 55ページ ☞ 「地図を拡大/縮小する」 50ページ

3 カーソルを目的地に合わせ、**設定** ボタンをタッチして設定メニューを表示させ、**目的地に設定する** ボタンをタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなるよ!



：参考ルートの探索を始めます。

探索が完了し、ルート案内画面になるまでしばらくお待ちください。

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に登録する場合は **はい** ボタンを、一般道路上に登録する場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探査する場合

1

現在地 ボタンを押して、現在地が測位できていることを確かめる。

☞ 「現在地を表示するには」 52ページ



自車マークの位置／角度がまちがっている場合は、修正してください。

☞ 「現在地(自車)の位置を変更する」 180、181ページ

方位表示の背景が黄色ならOK!



現在地表示画面(例)

2

現在地表示中に **Quick** ボタンをタッチしてQuickメニューを表示させ、**自宅へ** ボタンをタッチする。



最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなるよ!



：参考ルートの探索を始めます。

探索が完了し、ルート案内画面になるまでしばらくお待ちください。

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを選択するとルート探索を開始します。



● **OPTION** ボタン(☉)に“自宅”機能を設定している場合は、**OPTION** ボタン(☉)を押すと自宅までのルート探索をします。

☞ 「オプションボタンの設定をする」 246、247ページ

● 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

手順 **2** で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、

はい ボタンを選択すると自宅登録設定画面が表示されるので、自宅を登録してください。

☞ 「自宅を登録する」 63～65ページ

● 新たにルート探索すると、前回探索した参考ルートは消えます。

● 参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

● **設定** / **Quick** ボタン(Quickメニュー)の詳細内容は☞ 「Quick機能について」 58、59ページをご覧ください。



注意 交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

「ここだけ読んでも使えます」

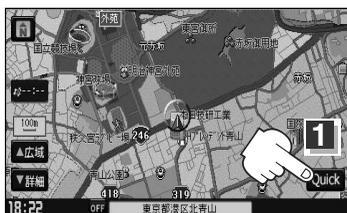
「Quickルート探索をする」

右画面に地図を表示する

現在地表示時、画面を2つに分けて、右側に縮尺レベルの異なる地図を表示させることができます。

1 現在地表示時に、**Quick** ボタンをタッチする。

：Quickメニューが表示されます。



2 **右画面地図** ボタンをタッチする。

：地図が2画面で表示されます。

もとの画面に戻すときは…

もう一度、**右画面地図** ボタンをタッチする。



次へ / **前へ** ボタンタッチで
ページ戻し / ページ送り表示



左画面

右画面



アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示 ↔ 全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示は **MENU** → **NAVI設定** → **表示設定** → **地図表示設定** → **次へ** 2回タッチ (③ページを表示) → “右画面に地図表示” を **する** に設定して右画面に地図を表示することもできます。

 「右画面地図表示の内容を設定する」 185、186ページ

右画面の方位／縮尺スケールを変えるには

右画面地図表示のとき右画面の設定を変えることができます。



アドバイス

右画面のフリーズームはできません。



方位 ボタンをタッチする。

縮尺スケール ボタンをタッチする。

： **広域** ボタンタッチ：広域 (縮小)

詳細 ボタンタッチ：詳細 (拡大)

各スケールボタンタッチ：
選択スケールで表示

音声案内について(1)

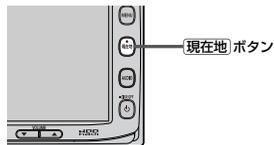
音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経路地に近づくとき“まもなく経路地付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- デモ走行時、細街路の音声案内をしますが、実際の走行では細街路の音声案内はしません。



アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は、「音声案内の音量を調整するには」218、219ページをご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 **現在地** ボタンを押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
「■ 音声案内を止める場合」218ページで **消音** ボタンを選択している場合は、**現在地** ボタンを押しても音声案内を聞くことはできません。



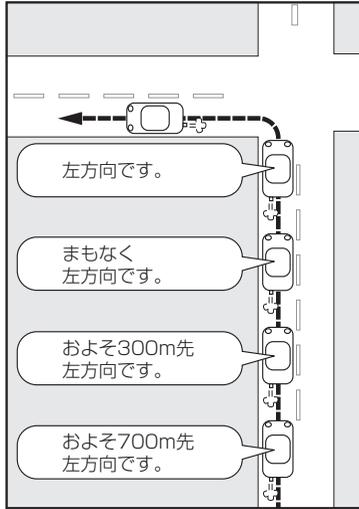
「ここだけ読んで使えます」

「右画面に地図を表示する」
「音声案内について」

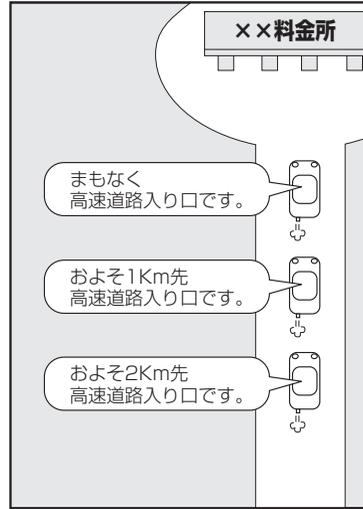
音声案内について(2)

目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

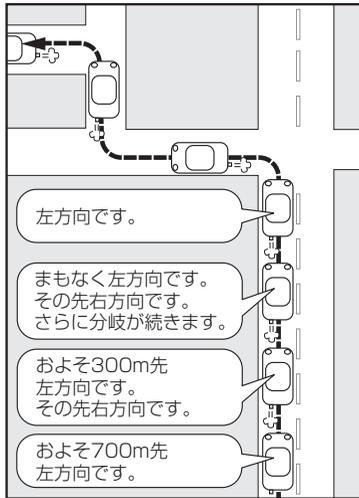
一般道の交差点



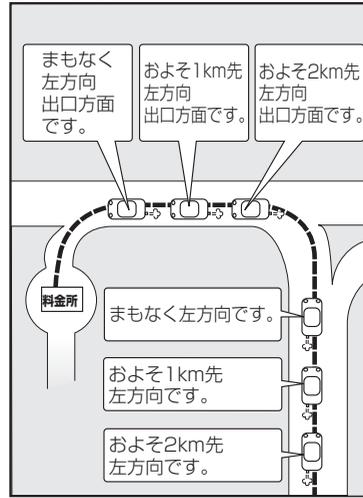
高速道路入口



一般道の連続した交差点



高速道路出口およびジャンクション



※連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。